

海外LPガス情報の紹介

(No. 143 平成 22 年冬号)



平成 19 年度から「海外LPガス情報の紹介」は内容を一新し、当センターの国際事業を主体とした独自性のある国際情報をお届けすることにいたしております。今回は、平成22年2月に開催した「LPガス国際セミナー2010」と平成22年3月にセンター訪問の中国LPガス訪日交流団概要についてご紹介いたします。なお、中国LPガス訪日交流団との交流会はセンターからの情報提供にとどまりました。

財団法人 **エルピーガス振興センター**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号

(電話: 03-3507-0041 Fax: 03-3507-0048)

E-mail: info@LPガス.c.or.jp

HP URL: <http://www.LPガス.c.or.jp>

(「海外LPガス情報の紹介」のバックナンバーも掲載)

LPガス国際セミナー2010

エルピーガス振興センターは、平成22年2月25、26日の2日間、新橋の第一ホテル東京において『LPガス国際セミナー2010』を開催いたしました。

今回は平成7年度に開催されましたアジアLPGセミナーから数えて15回目になります。このセミナーは経済産業省の支援のもとエルピーガス振興センターが毎年2月に開催してきたものです。幸にも国内外よりこのセミナーの意義を認められ、本年は460名強の参加者となり、本会場は立錐の余地もないほどでした。

海外から招へいした講演者を中心に、当日発表された内容の要点を紹介させていただきます。



ADNOC ヌアイミ氏の発表風景

《セミナーの概要》

- 日時場所：平成22年2月25日(木)～26日(金) 第一ホテル東京(新橋)
- テーマ：転換期を迎える世界経済の中での新たなLPガスの役割
- 参加国等：英国ポータン&パートナーズ社、中国広東油気商会、デンマーク・マースクタンカーズ社、アブダビ・ADNOC社、韓国LPガス協会、インドIOC社、サウジ、ベトナム、SHVガス社、世界LPガス協会
- 参加者：約460名
- 内容：基調講演、日本側・海外招聘者の講演、個別&総括質疑応答

《主な講演内容》

○基調講演【ポータン&パートナーズ】

LPガスコンサルティング・マネジャー コーリン・シェリー 氏

- ①米国は、石化需要減退により、2009年LPガス輸入国からネット輸出国となり、南米や欧州へLPガス輸出した。この結果、西・北アフリカのLPガスがアジアに流れ込んだ。
- ②今後、中東産ガス国のプロジェクトによりLPガスの生産が大幅に増加する。また、2010年より海運市況は好況に入る。
- ③2010年はサウジがLPガスの輸出を減らすが、カタールとアブダビが大幅に伸ばす。



○中国【広東石油ガス商会】

ガス部長ケヴィン・ツァン 氏

- ①2009年のLPガス需要量は22.4百万トンで、その内訳は生産量:19.2百万トン、輸入量:4.1百万トン、輸出量:0.9百万トンである。また、LPガスの輸入量は、購入価格により敏感に反応する。
- ②2009年の天然ガス需要量は87.3百万トンである。天然ガスは長距離パイプラインにより新疆、トルクメニスタン、ミャンマーからも輸送されている。天然ガスとLPガスとの価格競合が激しい。
- ③DMEは生産能力の2割しか稼働せず。LPガスとの価格差が浮沈の鍵を握る。



○デンマーク【マースク・タンカーズ社】

マースタンカー・ガス部門ディレクター モーテン・ピルノフ 氏

- ①現在海運市況は底であるが、2010年末から2011年始めに上向くだろう。



○アラブ首長国連邦【国営 ADNOC 社】

ガス・硫黄部門 ガス販売マネジャー アブドゥラ・S・アル・ヌアイミ 氏

- ①ADNOCのLPガス輸出量のうち日本向けが占める割合は、2008年:53.4%、2009年:53.0%である。
- ②LPガス生産は2011年に1100万トン突破し、2014年に1550万トンを超える。これは中東の33%を占めることになる。



○韓国【韓国LPガス協会】韓国LPガス協会(韓国)

理事長 コー・ユンフウア 氏

- ①一次エネルギーに占めるLPガスは4.4%で、うちオートガスは49%を占める。また、LPガス仕様車は1999年から3倍に増え全自動車の18%である。
- ②2005年税制改革後は、ガソリン:ディーゼル:LPガスの販売価格比が100:85:50となるよう税調整が行われている。



○インド【インド石油公社】インド石油公社(インド)

LPガス販売チーフ・マネジャー ジャヤDEVAN・プティエダット 氏

- ①2008年のLPガス需要量は11.8百万トンで、うち生産量:9.3百万トン、輸入量:2.5百万トンである。インドは、世界第2の容器販売マーケットで、1.1億世帯が容器を使っている。
- ②LPガス転換を進めるためインド政府は補助金を出しており、農村部中心に毎年6百万人消費者が増えている。



○サウジアラビア【サウジアラムコ社】ダーラン本社

LPガスマーケティング・マネジャー アリ・アル・マスード 氏

- ①2010年の輸出量は2009年と同量になると予測される。
- ②CP制度は、16年間の信頼がある。メディア算定、極東アジア諸国ネットバック、アジア輸入者見解との差異は小さく、市場価格の反映には確信がある。
- ③これからも、顧客志向、救援志向の活動に重点を置く。



○ベトナム【ペトロベトナム・ガス・トレーディング社】

輸出入部マネジャー ファム・ティ・キム・フーン 氏

- ①2009年のLPガス需要量は、1.1百万トンで、うち生産量:0.9百万トン、輸入量:0.2百万トンである。LPガス用途構成は、家庭用が74%、産業用が25%、オートガスが1%である。
LPガス需要量は、2001年から2007年の間で3倍に増えた。
- ②今後5年間のLPガス需要の伸びは7%であるが、2つの製油所が立ち上がると、輸入の依存率が減る。



○オランダ【SHVガス社】最高経営責任者

ローイック・ドゥリビーク 氏

- ①SHVは、世界で4億の顧客をもち、LPガス専門の卸小売多国籍企業で、マーケットは3大陸27カ国に及ぶ。持続的成長、顧客との対話が同社の「鍵」である。2009年の売上高は7.2兆円である。
- ②SHVは、広報活動・ロビー活動を通して、LPガスの普及促進を図っている。



○世界LPガス協会技術担当理事

アルマンド・ヴィソゾ 氏

- ①WLPGAの存在意義を強調、exceptional energy(卓越したエネルギー)LPガスの世界的推進母体である。
- ②コペンハーゲンのCOP15を含む国連の気候変動会議に参画しLPガス普及のロビー活動を推進している。



(岩田総括主任研究員)

中国 LP ガス訪日交流団のセンター訪問

= 日本での LP ガス供給・流通に関する調査 =

平成 22 年 3 月 5 日(金)石油産業新聞社手配による中国 LP ガス訪日交流団(6名)がセンターを訪問しました。

中国においては、LP ガスの製品としての明確な基準および規制管理がなく、わが国での規制・管理を調査し、更に、わが国の DME を含め LP ガスの新たな利用技術を導入、また、進んだ流通システムを学ぶ事により、今後中国での新たな LP ガス販売拡大を図りたいと希望しています。

今後とも、日中間で情報交換を行うこととしました。

[中国 LP ガス訪日交流団の、日本の現状の調査の主な項目]

- ・LP ガス小売販売の形態、
- ・LP ガス利用用途と技術、
- ・コンポジット容器(FRP 容器)
- ・LP ガスの需給見通し
- ・LP ガス販売の行政システム
- ・DME 導入の展望
- ・日中 LP ガス業界の交流事業 等

[訪日メンバー]

団長：中国ガス協会 広報委員会
中国ガス協会 LP ガス委員会
チャイナガス投資公司
南京百江 LP ガス公司
北京市 LP ガス公司
北京ガス情報技術公司
(通訳)

副議長 趙 梅 (Zhao Mei)
事務長 熊 偉 (Xiong Wei)
社長 龐 英学 (Pang Yingxue)
社長 沈 聯選 (Shen Lianjin)
技師長 靈 玉梅 (Liang Yumei)
社長 陳 肖陽 (Chen Xiaoyang)

(根木総括主任研究員)

以上